



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東
 コード番号 3928 URL http://mynet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 村兼 躍 (TEL) 03-6864-4261
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	8,883	109.3	328	63.1	294	53.0	△134	—
28年12月期第3四半期	4,245	—	201	—	192	—	164	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 △134百万円 (—%) 28年12月期第3四半期 164百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	△16.67	—
28年12月期第3四半期	24.70	23.20

(注) 当社は、平成29年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	8,461	6,660	78.6
28年12月期	10,223	4,050	39.3

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 6,650百万円 28年12月期 4,020百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年度1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,900 ～12,000	75.0 ～76.4	460 ～510	△8.2 ～1.8	350 ～400	△14.8 ～△2.7	20 ～60	—	2.48 ～7.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

平成29年度12月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は添付資料P.3

「(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動:有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社S & Mゲームス、除外 1社 (社名) 株式会社C & M

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期3Q	8,108,000株	28年12月期	7,128,000株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	74株	28年12月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期3Q	8,052,395株	28年12月期3Q	6,664,000株

(注) 当社は平成29年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、力強さを欠くものの雇用・所得環境に改善がみられるとともに、個人消費は緩やかに持ち直しの動きがみられるなど回復基調を持続いたしました。しかしながら、世界経済の不確実性が一層増大していることに加え、金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域であるスマートフォンゲーム業界では、国内市場全体は成熟期に入りつつあり、合理化を目的としたゲームメーカーが事業の切り離しや合従連衡など生き残るために様々な動きを模索していくと予想されます。そのような環境下で、ゲームメーカーとサービス事業者の役割分担のように業界の構造変化も進んでおり、今後もゲームタイトルをゲームサービス事業者に売却または運営を委託するという流れは続いていくものと予想しております。

当社グループは、ゲームメーカーが制作したスマートフォンゲームを買取や協業により仕入れ、独自のノウハウでバリューアップした後に長期サービス運営を行うゲームサービス事業を営んでおります。現在は、ソフトウェア産業からサービス産業へと構造変化したゲーム産業の中で、ゲームサービス業という新たな業態を確立していくことを目指して事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間において協業からのスキーム変更を含め7タイトルの仕入れ（同会計期間では仕入れを行わず）と3タイトルのエンディング（同会計期間では2タイトル）を行いました。結果、同期間末の全運営タイトル数は37タイトルとなっております。

当第3四半期連結会計期間は、前会計期間において事業領域の拡大に伴うリスクの顕在化、タイトル仕入れにおける不十分な品質管理による一時的な収益性の悪化に伴い、仕入れを抑え次連結会計期間以降の持続的な成長構造の確立をすることに注力いたしました。具体的には、運営体制を強化するために当社グループの全タイトルを適切なタイトル数やジャンルごとに区分けしてマネジメントを行うユニット体制を導入しました。また仕入れ体制に関しては、投資基準の精度向上や投資スキームの拡充、また評価プロセスの改善・整備などを行うことにより、仕入れの品質管理を徹底できる仕組みと体制を構築してまいりました。

また、今後の仕入戦略において、大型タイトルの減損リスクを低減するために、協業スキームからのステップ買取も活用していくこととしております。その他、リスタートタイトルの継続的なチャレンジや、長期利益化のために自動運転化やパートナー移管を着実に進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,883,712千円（前年同期比109.25%増）、営業利益は328,024千円（同63.13%増）、経常利益は294,406千円（同53.02%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は134,248千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益164,629千円）となっております。

なお、当第3四半期連結累計期間末における当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,761,900千円減少し、8,461,449千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比582,274千円の減少）、未収入金の減少（前連結会計年度末比518,785千円の減少）、のれんの減少（前連結会計年度末比393,163千円の減少）があった一方で、売掛金の増加（前連結会計年度末比33,796千円の増加）などがあったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて4,371,717千円減少し、1,800,731千円となりました。これは主に、短期借入金の減少（前連結会計年度末比3,736,533千円の減少）、未払金の減少（前連結会計年度末比394,175千円の減少）、長期借入金の減少（前連結会計年度末比229,631千円の減少）があった一方で、1年内返済予定の長期借入金の増加（前連結会計年度末比90,755千円の増加）などによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2,609,817千円増加し、6,660,718千円となりました。これは、資本金の増加（前連結会計年度末比1,382,523千円の増加）、資本剰余金の増加（前連結会計年度末比1,382,523千円の増加）があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比134,248千円の減少）などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが取り組むスマートフォンゲームビジネスを取り巻く環境は、大きく変化してきております。ソフトウェア産業からサービス産業へと構造変化したゲーム産業の中で、当社グループはゲームサービス業という新たな業態を確立していくことを目指して事業を行っております。当社グループは既存のスマートフォンゲームタイトルの運営に新たなゲームタイトルの仕入れ、ゲームメーカー又はその事業のM&Aなどが今後も連続的に加わることで想定されるため、ゲームタイトル等の新規獲得に係る将来予測が難しいビジネスモデルであります。ゲームタイトル等の獲得状況に応じて、当社グループの業績も短期的に大きく変動する可能性があることなどから連結業績予想の開示をしておりませんでした。しかしながら、当連結会計年度の期間においては、現時点での入手可能な情報での予測に基づき合理的な算出が可能となったことから、連結業績予想を公表することとしました。

なお、一部タイトルによる売上・損益の変動が想定されるため、レンジによる連結業績予想を採用しております。また当該予想数値は、現時点で当社グループが入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,546,920	1,964,646
売掛金	1,360,731	1,394,527
未収入金	970,546	451,761
繰延税金資産	101,297	94,043
その他	769,264	280,970
貸倒引当金	△8	-
流動資産合計	5,748,752	4,185,948
固定資産		
有形固定資産	114,528	148,618
無形固定資産		
のれん	2,314,639	1,921,476
その他	292,173	317,285
無形固定資産合計	2,606,813	2,238,761
投資その他の資産		
長期前払費用	581,104	582,849
繰延税金資産	984,481	967,643
その他	187,669	337,628
投資その他の資産合計	1,753,255	1,888,121
固定資産合計	4,474,597	4,275,500
資産合計	10,223,349	8,461,449
負債の部		
流動負債		
買掛金	265,896	285,938
未払金	605,764	211,588
短期借入金	3,840,933	104,400
1年内返済予定の長期借入金	631,836	722,591
未払法人税等	197,023	24,848
賞与引当金	-	26,087
その他	181,300	205,211
流動負債合計	5,722,752	1,580,666
固定負債		
長期借入金	449,696	220,065
固定負債合計	449,696	220,065
負債合計	6,172,448	1,800,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,570,511	2,953,034
資本剰余金	1,551,068	2,933,591
利益剰余金	898,478	764,229
自己株式	-	△105
株主資本合計	4,020,057	6,650,749
新株予約権	30,843	9,969
純資産合計	4,050,900	6,660,718
負債純資産合計	10,223,349	8,461,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	4,245,525	8,883,712
売上原価	2,766,902	5,581,211
売上総利益	1,478,622	3,302,500
販売費及び一般管理費	1,277,538	2,974,476
営業利益	201,083	328,024
営業外収益		
受取利息	131	116
為替差益	-	501
その他	134	674
営業外収益合計	266	1,293
営業外費用		
支払利息	5,693	20,551
株式交付費	3,245	2,853
上場関連費用	-	4,000
事務所移転費用	-	7,505
その他	18	-
営業外費用合計	8,958	34,911
経常利益	192,392	294,406
特別損失		
減損損失	-	203,112
解約違約金	-	70,560
固定資産除却損	-	2,116
特別損失合計	-	275,789
税金等調整前四半期純利益	192,392	18,617
法人税、住民税及び事業税	79,105	128,772
法人税等調整額	△51,342	24,093
法人税等合計	27,762	152,865
四半期純利益又は四半期純損失(△)	164,629	△134,248
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	164,629	△134,248

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	164,629	△134,248
四半期包括利益	164,629	△134,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,629	△134,248
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株発行に伴い、資本金が1,382,523千円、資本剰余金が1,382,523千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,953,034千円、資本剰余金が2,933,591千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、ゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。